

# 俳句



覚へては忘るる牡蠣かきといふ字かな 大西 一教

冬紅葉命燃やしてをりにけり 相原 憲子

恒例の干支えとの置物選よる師走しゅうさ 篠崎 伶子

枯野ゆく吾を見守る枯木立 長曾我部弓子

ほっこりと今日のお八やつは甘藷さつまいも 中岡セツコ

小春日や窯場巡りに加はりて 長戸ふじ子

猫眠る枯野の色に包まれて 野村タカ子

トンネルを抜けて青空あそら芒原 廣末 榮子

劳わづらいの言葉をそえて破魔矢受く 福岡いつ子

放たれし犬は枯野を駆け回る 松林 静子

方言の四つぶつかる炬燵いむわかな 宮田 弘道

覗き見る紅葉の不器男記念館 向井 章子

巖いわ叩きたたきて冬の滝真白 向井 初子

夕暮れに鳥舞ひ戻る枯野原 森 安子

電飾の青野輝き師走来る 竹内 成美

## 今回の主な季語

牡蠣…三冬（10月・11月・12月）の季語。

枯野…草の枯れた冬の野。

炬燵…主に10月後半から11月上旬の季語。

近ごろの10月後半は暖かい日が多くあり、こたつの出番は遅くなりつつあるかも…。



## 消費者力アップ通信

インターネットで注文する食事宅配に関する注意

### 相談事例

スマホのフードデリバリー専用のアプリでファストフードを注文した。配達が遅いと思いながら待っていたら、配達員からスマホに着信があり、出たが切れてしまった。すぐかけ直したが配達員に繋がらず、メッセージを送ったが返信もなく、自宅の周囲も探してみたが、配達員から知らなかった。そうしているうちに時間が経ってしまい、注文は一方的にキャンセルとなり、代金は請求されてしまった。

### アドバイス

- フードデリバリー専用のWebサイト・アプリは、運営事業者が定めた利用規約や利用方法に沿って利用する必要があります。利用規約や利用方法はサービスによって異なるため、必ず利用前に確認しましょう。
- トラブルにあった時は、アプリ内にカスタマーサポート専用の連絡窓口が設置されている場合がありますので、連絡してみましょう。
- 住所入力には正確に。マンション名等の建物の名前や部屋番号も必ず入力するようにしましょう。また、配達員からの電話、メッセージには必ず対応し、電話に出られなかった際はすぐに折り返すようにしましょう。

相談窓口 消費者ホットライン ☎1188

平日の8時30分～17時15分は商工観光課内消費生活相談窓口にて、土・日曜日、祝日の10時～12時、13時～16時は国民生活センターにつながります。

## むかしの道具 火熨斗（ひのし）

布地のしわを伸ばすための道具です。片手鍋やひしゃくのような形をしており、金属製の容器に熱した炭火を入れ、柄えを持って金属容器の底を布に当て、熱と重さで布のしわを押し伸ばします。

日本では、実際に使われていたかは不明ですが古墳から副葬品として出土しています。また、平安時代の辞書にも熨斗ひのしの名で記載されており、この頃には使用されていたことがわかっています。

江戸時代になると、炭火を利用した焼きごても使われるようになりました。

長期にわたり使用され、庶民にも普及しましたが、温度調節ができない、灰が布に落ちるなどのデメリットもありました。



明治時代に入ると炭火アイロンが西洋から伝わり、その後、電気アイロンが普及して徐々に使用されなくなりました。

問 社会教育課 ☎(962) 5952

(砥部むかしのくらし館所蔵)